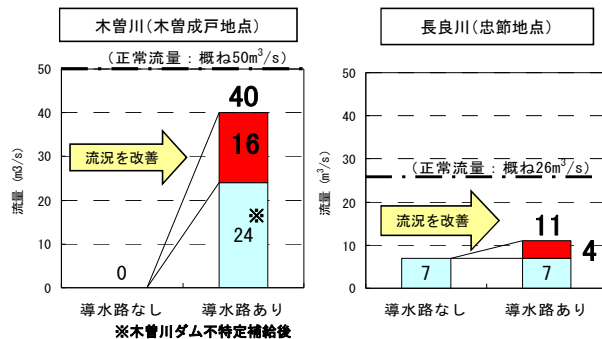


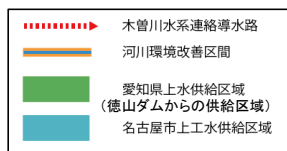
木曽川水系連絡導水路事業の効果

1. 異常渇水時の河川環境の改善

・異常渇水時の維持流量を確保することにより、河川環境の改善を図るとともに、既得用水の取水の安定化に寄与します。



2. 木曽川水系連絡導水路による利水供給区域



3. 渇水被害の軽減

・異常渇水による甚大な渇水被害の最小化を図るため、既存の水資源開発施設や木曽川水系連絡導水路等を最大限に活用する水系全体の総合運用について、関係機関と調整しその実施に努めることとしています。

【渇水及び異常渇水対策(河川整備計画抜粋)】

木曽川上流ダム群の枯渇状況



H6年(戦後最大)規模の渇水を対象にシミュレーションした結果

木 曽 川 用 水		
断水の恐れがある取水制限日数	ダム枯渇日数	
導水路整備前	81日	36日間
導水路整備後	45日	28日間
水系総合運用	3日	回避

愛知用水・東濃用水		
断水の恐れがある取水制限日数	ダム枯渇日数	
導水路整備前	56日	36日間
導水路整備後	38日	28日間
水系総合運用	18日	回避

明日へつなぐ水と自然

～ 木曽川水系連絡導水路事業 ～



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

独立行政法人水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所 木曽川水系連絡導水路事業推進室
ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisodo/>
連絡先 〒501-0603 岐阜県揖斐郡揖斐川町上南方165番地10
TEL 0585-22-6711 FAX 0585-22-6714

推進室HP

